ふじ市議会だより

第203号　令和7年5月1日

第19回富士山百景写真コンテスト　富士山写真部門入選
「寄港の合間に楽しむ」園田千鶴さん撮影（エリア：田子の浦港西）

新たな議長、副議長を選出
委員改選し、新たな体制でスタート

報　告

「高校生議会」を市議会議員がサポートしました！…13

SDGs 未来都市 富士市

２月定例会

会期内容

２月14日　本会議（開会）
- ◇特別委員会の中間報告・質疑
- ◇議案１件（報告案）説明・質疑・討論・採決
- ◇議案16件（補正予算案・条例案・契約案・単行案）説明・質疑・委員会付託
- ◇請願１件・陳情１件委員会付託
- ◇令和７年度市長施政方針

17日　分科会・委員会
- ◆総務市民分科会・委員会
- ◆産業教育分科会・委員会

18日　分科会・委員会
- ◆福祉保健分科会・委員会
- ◆建設消防分科会・委員会

20日　委員会
- ◆予算決算委員会
- ◆議会運営委員会

25日　本会議
- ◇議案16件、陳情１件委員長報告・質疑・討論・採決
- ◇議案43件（予算案・条例案・単行案）説明

26日　委員会
- ◆議会運営委員会

３月５日　本会議
- ◇市長施政方針に対する質問

６日　本会議
- ◇市長施政方針に対する質問
- ◇一般質問

７日　本会議
- ◇一般質問

10日　本会議・委員会
- ◇一般質問
- ◆議会運営委員会

11日　本会議
- ◇一般質問

12日　本会議・委員会
- ◇一般質問
- ◇議案43件質疑・委員会付託
- ◇議案１件（条例案）説明・質疑・委員会付託
- ◇発議議案３件説明・採決
- ◆新病院建設特別委員会

13日・14日　分科会・委員会
- ◆総務市民分科会・委員会
- ◆産業教育分科会・委員会

17日・18日　分科会・委員会
- ◆福祉保健分科会・委員会
- ◆建設消防分科会・委員会

21日　委員会
- ◆予算決算委員会

24日　委員会
- ◆議会運営委員会

25日　本会議（閉会）
- ◇特別委員会の中間報告・質疑
- ◇議案44件、請願１件委員長報告・質疑・討論・採決
- ◇議案１件（補正予算案）説明・質疑・討論・採決
- ◇議案１件（人事案）説明・採決
- ◇共立蒲原総合病院組合議会議員選挙
- ◇議長選挙
- ◇副議長選挙
- ◇議会運営委員・常任委員・特別委員の選任

共立蒲原総合病院組合議会議員（敬称略）

石川　浩司、　植松　光徳、　下田　良秀、
高橋　正典、　山下いづみ

人事案件

１件の人事案件は、次のとおり同意されました。
▷**富士市農業委員会委員　19人**

議会モニター会議の報告

２月27日、議会モニター会議を開催しました。

議会モニター制度は、市民の皆様からの意見を広く伺い、議会活動に反映させることを目的に、議会基本条例で定められたものです。

会議では、本会議、委員会の傍聴や議会だより、議会報告会等について、意見を伺いました。

モニターからは、「議会報告会の開催時期や開催方法について、市民が参加しやすく、より分かりやすい内容になるよう見直しをしてはどうか」「気軽に会議を傍聴・視聴できる環境整備のため、傍聴受付の電子化や視聴環境の改善を進めるべきではないか」など、様々な御意見をいただきました。

議案の審議結果

※太字は委員会付託議案です。

■全会一致で可決、承認、同意した議案

報告　専決処分の承認
- 令和６年度富士市一般会計補正予算（第７号）

予算　令和６年度　富士市各会計補正予算
- 一般会計（第８号）
- ≪特別会計≫国民健康保険事業（第３号）・後期高齢者医療事業（第２号）・介護保険事業（第３号）・新富士駅南地区土地区画整理事業（第２号）・第二東名ＩＣ周辺地区土地区画整理事業（第１号）・駐車場事業（第１号）・森林財産（第１号）
- ≪企業会計≫水道事業（第３号）・公共下水道事業（第１号）・病院事業（第４号）

予算　令和７年度　富士市各会計予算
- ≪特別会計≫後期高齢者医療事業・介護保険事業・新富士駅南地区土地区画整理事業・第二東名ＩＣ周辺地区土地区画整理事業・駐車場事業・森林財産・鈴川財産区・今井財産区・大野新田財産区・檜新田財産区・田中新田財産区
- ≪企業会計≫水道事業・病院事業

予算　令和７年度　補正予算
- 一般会計（第１号）

条例　条例の制定
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 富士市病院事業管理者の給与等に関する条例
- 富士市学校施設整備基金条例
- 富士市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 富士市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例

条例　条例の改正
- 富士市職員定数条例等
- 富士市職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- 富士市職員の育児休業等に関する条例
- 富士市職員の給与に関する条例
- 富士市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- 富士市職員の特殊勤務手当に関する条例
- 富士市職員の退職手当に関する条例
- 富士市手数料条例
- 富士市社会福祉センター条例
- 富士市水道事業及び公共下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例
- 富士市水道事業布設工事監督者を配置する工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例
- 富士市下水道条例
- 富士市立博物館条例
- 富士市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例
- 富士市消防団員等公務災害補償条例

条例　条例の廃止
- 富士市総合体育館建設基金条例
- 富士市青少年問題協議会条例

契約　契約の一部変更
- 富士市総合体育館等整備・運営事業

その他　減額貸付ほか
- 岳南富士地方卸売市場に係る土地及び建物の減額貸付
- あらたに生じた土地の確認
- 字の区域の変更
- 市道路線の認定
- 市道路線の廃止
- 市道路線の変更

その他　指定管理者の指定
- 砂山公園プール及び砂山公園
- 富士市立そびな寮及び富士市立あおぞら寮

人事
- 富士市農業委員会委員の任命

発議　条例・規則の改正
- 富士市議会政務活動費の交付に関する条例
- 富士市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則
- 富士市議会の個人情報の保護に関する条例

■賛成多数により認定した議案

予算　令和７年度　富士市各会計予算
- 一般会計　（賛成30：反対１）
- ≪特別会計≫国民健康保険事業（賛成30：反対１）
- ≪企業会計≫公共下水道事業　（賛成30：反対１）

条例　条例の改正
- 富士市特別職の職員の給与に関する条例等　（賛成24：反対７）

議案に対する各議員の賛否は富士市議会ウェブサイトを御覧ください。

予算決算委員会

（当初予算16件）

【委員長】稲葉寿利　【副委員長】小池義治
【委　員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●火葬時間帯の見直しに向けて関係者と協議を

問 斎場費について、例年１月は亡くなる方が多い中、今年は特に多かったため、通常、午前９時から午後３時までの間で、１日12件の火葬件数を、最大で14件にまで増やしても対応が追い付かない状況だったとのことですが、現在６基ある火葬炉を増設する考えはありますか。

答 現在の斎場には火葬炉を増設するスペースがないため、夕方の時間枠の拡大などにより１日の火葬件数を増加させたり、友引の日での稼働も視野に対応していきたいと考えています。

要望 時間帯の調整については、葬儀関係者から午前９時からの火葬は葬儀の時間が早朝になるので避けてほしいとの要望が出ていると思うので、関係者と協議の上、進めてください。

福祉保健分科会

●昨年開始したこども誰でも通園制度の利用状況と新年度の対応は

問 令和６年５月から開始したこども誰でも通園制度では、月10時間を上限に、生後６か月から２歳までの子供を預けることができるとのことですが、その利用状況はいかがですか。また、新年度はどのように行うのですか。

答 利用者数は月を追うごとに増加し、本年３月11日までに延べ852人、実人数では299人の利用があり、子供の遊びの幅が広がった、保育士に子育てに関する相談ができたなど、保護者から高い評価を得ています。新年度は新たに公立３園、私立５園で本制度を開始する予定ですが、年度当初から多くの方に利用してもらえるよう積極的にＰＲに取り組んでいきます。

産業教育分科会

●議会事業評価を受けて事業者と協議した内容は

問 ＦＵＪＩ＆ＳＵＮ開催負担金について、令和５年度決算審査における事業評価では縮小・廃止を検討との評価を受けていますが、初年度から300万円としていた開催負担金を新年度は230万円に縮小したことに関して、負担金を交付している民間事業者とはどのような協議を行ったのですか。

答 今後は徐々に開催負担金の額を減らしていき、令和10年度で交付を終了とすることや、当初目標としていた来場者数１万人を達成し本事業が収益化した場合には、その翌年度から交付を終了する方向で民間事業者と協議しています。また、事業評価において、来場者を市内に誘導できる仕組みを検討するよう提言があったことから、市内のホテル旅館業組合や温浴施設に協力を仰ぎ、来場者に特典を与え施設を利用してもらえるような仕組みづくりに取り組んでいきます。

建設消防分科会

●議会事業評価を受けて見直した内容は

問 公園愛護会費を891万円余計上し、公園愛護会活動報奨金を前年度から７か所増の251か所としていますが、令和５年度決算議会事業評価において、拡充するという評価を受け、新年度はどのような見直しを行ったのですか。

答 事務手続の軽減のために、活動報告書の提出を毎月から四半期ごとに改めるほか、町内会やＮＰＯ法人などの事業者に対して公園愛護会への参加を促すための説明に伺うなど、担い手不足の解消に向けた取組を実施する予定です。また、今後、公園愛護会の活動の周知や公園の管理についてのアンケート調査を予定しています。

各分科会において、上記の質疑・答弁・要望があり、一般会計、国民健康保険事業特別会計、公共下水道事業会計の３件について反対討論を行った後、全ての付託議案を可決し、次の事項を当局に要望することになりました。

【一般会計】

●移住就業支援補助金について、東京圏から本市に移住後、１年以内に婚姻し、世帯を持った単身者に対し、既存制度の60万円に加え、市独自で40万円を加算するとのことである。単身者をメインターゲットとしたことは評価できるが、東京圏では様々な情報があふれているので、対象者に本事業を効果的にＰＲできるよう、広報の仕方を工夫すること。

●男女共同参画推進員について、新たに推進員となった方に対し、地域の声を聴く場の設置や研修会を開催するなど、男女共同参画理念のさらなる浸透に向けて取り組むこと。

●窓口収納・振込手数料について、令和６年10月から公金の支払いに際し、振込手数料が有料化されたため、新年度は30万件余、3800万円余の振込手数料を見込んでいるとのことである。振込回数を減らすなどの取組をしているようだが、市の財政負担を減らすため、手数料の削減に向けて全庁的に取り組むこと。

●救急医療センター運営管理費について、救急医療センターは、指定管理者である富士市救急医療協会に運営委託しているが、保健部長をはじめ本市職員３人が理事となっている。同様に理事である富士市医師会の医師等としっかりと意思疎通を図り、適切な運営が行われるよう事業全体の検証を行うこと。

●ペット同行避難スターターキットの指定避難所への配備について、その活用には市民や自主防災会等の理解が重要になると考えるため、配備に当たってはその周知や訓練の実施に向けて、防災危機管理課としっかりと連携すること。

●蒲原病院組合負担金について、静岡市から、各市の患者数を基に算出した負担割合に見直したいとの提案があり協議しているとのことだが、その提案内容は、昭和61年当時の人口割合などに基づいて算定した現在の負担割合や、旧富士川町との合併時に本市が合意した合併協定書、患者数増加への本市の努力を否定するものであり、蒲原病院の安定的な運営に向け、今後、市長、副市長と密に情報共有を行い、本市としての方向性を示した上で協議に臨むこと。

●全国工場夜景サミットの開催について、サミット終了後も工場夜景を市民に根付かせていくため、市内企業団体等との会議体の設置だけでなく、ロードマップ等の策定にも取り組むこと。

●多くの技術職員の退職が見込まれる中、計画的な採用ができず、人員不足の状況にある技術職員の負担軽減を目的に、予算に係る見積もり業務などを外部委託するとのことである。委託により職員の技術力の低下が懸念されるため、委託する業務を精査し、技術の継承に努めること。

●富士駅北口駅前広場整備事業について、ペデストリアンデッキを解体するため、仮設道路や歩行者動線を確保するとのことだが、看板や交通誘導員を配置するなど、利用者の安全確保に努めること。

●感震ブレーカー設置費補助金について、昨年の当分科会からの要望を受け、目標を見直し、新年度は200台分、560万円を計上したとのことだが、年間200台という目標は消極的だと考えるため、目標を超える申請があった場合もしっかり対応し、市民の関心の高いうちに積極的に設置を促すこと。

●予算書の表記について、富士市行政経営プランでは人件費の抑制を図ることを掲げているが、予算書にはパートタイム会計年度任用職員の人数が記載されていない。人件費の抑制に向けて計画を立て実績を把握するためには、人数を表記することが見える化につながり望ましいと考えるので、表記の方法を検討してはどうか。

【介護保険事業特別会計】

●認定調査を居宅介護支援事業所に委託する際の単価について、県内では4000円としている自治体がほとんどであり、また他の自治体にある事業所へ調査を依頼する場合もあるため本市も同額のまま据え置いているとのことだが、物価高騰などの影響から調査にかかるコストに見合った金額になっていないと考えるため、より高い金額を設定している自治体を参考にして見直していくこと。

【各財産区特別会計】

●各財産区の土地貸付料について、周辺の固定資産税評価額等に比べて非常に安価なため、貸付料の是正を財産区管理委員に引き続き働きかけること。

【病院事業会計】

●中央病院が魅力ある病院であることを富士保健医療圏以外の地域へアピールすることや、派遣元大学との関係性を強化し、さらに多くの医師を派遣してもらう体制を整えることで、医師や看護師の十分な確保に努めること。

総務市民委員会

（条例６件、その他１件）

【委員長】太田康彦　【副委員長】荻田丈仁
【委　員】一条義浩、杉山　諭、関　明美、笹川朝子、望月　昇、小野泰正

●新たに規定する子育て部分休業の職員ニーズは

問 富士市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例では、子育て部分休業を新たに規定するとのことですが、部分休業の対象期間を中学校就学までとしている自治体もある中、職員のニーズはどのような状況ですか。

答 今回の条例改正は、障害を持った子供を育てている職員などから、小学校就学始期を過ぎても勤務時間について配慮してほしいなどの強い要望があったため、その部分に重きを置いた内容としています。今後は、小学校３年生まで部分休業の取得可能期間を延長してほしいとの要望もあるため、職員組合等と引き続き協議を行い、勤務体制の確保などの状況も踏まえながら検討していきます。

福祉保健委員会

（条例５件、その他１件）

【委員長】鈴木幸司　【副委員長】高橋正典
【委　員】稲葉寿利、藤田哲哉、植松光徳、望月　徹、山下いづみ、福永意人

●陶芸棟の利用継続について、地区への報告が遅くなった理由は

問 老朽化のため令和７年３月末をもって廃止する富士市社会福祉センター広見荘について、当初は全て解体するとのことでしたが、陶芸棟を博物館に移管し、当面の間、利用を継続するとのことです。地区への報告が遅くなったのはどのような理由からですか。

答 広見荘の陶芸棟を利用していた団体から、利用継続の要望があり、教育委員会との協議・調整の結果、使用を継続することとしました。その際、方針の決定や移管先との調整を優先し、地区に対して報告が遅れたことは適切ではなかったと考えており、今後進めていく広見荘跡地の利活用等の検討においては、地区の意向を十分に聞き取り、信頼回復に努めていきます。

産業教育委員会

（条例３件、その他３件）

【委員長】萩野基行　【副委員長】長谷川祐司
【委　員】小池智明、新家大輔、石川浩司、市川真未、笠井　浩、佐野智昭

●陶芸棟を利用してきた自主団体への今後の利用方法に関する十分な説明は

問 今回、博物館施設として有料化される陶芸棟は、３月末に廃止される広見荘の施設として特定の自主団体が利用していたようですが、今後の利用方法などについて十分な説明は行ったのですか。

答 博物館工芸室と同様の取扱いとすることで他団体の利用が見込まれること、陶芸棟の修繕は行わないことから老朽化により使用できなくなるおそれがあることなどを事前に説明し、これまで利用していた自主団体からの了解を得ています。との答弁がありました。

建設消防委員会

（条例６件、その他３件）

【委員長】下田良秀　【副委員長】吉川隆之
【委　員】川窪吉男、遠藤盛正、井出晴美、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

当委員会に付託となった議案９件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

予算決算委員会

（補正予算11件）

【委員長】稲葉寿利　【副委員長】小池義治
【委　員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●全国自治体の情報システムの標準化による本市の運用経費の削減状況は

問 国は、全国自治体の情報システムを標準化することにより運用経費を３割削減できるとしてきましたが、本市ではどの程度と見込んでいますか。また、標準化は、他社製品への切替えが困難となるベンダーロックインの解消も目的の一つですが、どのように捉えていますか。

答 当初の国の見込みとは大きく異なり、本市における標準化後の共同電算システム全体の運用経費は、現行の約2.6倍に増加すると見込まれ、他市においても同様の傾向にあると把握しています。また、ベンダーロックインの解消については、システム事業者の変更により人員配置や庁舎レイアウトなどに影響が及ぶ可能性があるため、現時点においては難しいと考えています。

福祉保健分科会

●新型コロナワクチン定期予防接種の接種見込み数の減について

問 新型コロナワクチン定期予防接種の接種見込み数の減により、定期予防接種事業費を２億6700万円減額するとのことですが、大幅な減額をすることについてどのように捉えていますか。

答 昨年４月から新型コロナワクチンが定期接種に切り替わり、令和５年度まで行ってきた特例臨時接種の状況やインフルエンザワクチンの接種状況から接種率を53%として見込んでおりましたが、12月末時点で11.3%だったことから、今年度の接種率は見込みを大きく下回る15%程度になると想定しており、接種率の予測が難しい中、やむを得なかったと考えています。新型コロナワクチンの定期予防接種費については、定期接種化された初年度であったことや、今年度は国からの新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金が支給されることもあり、余裕を持った数字を算定していたこともその一因です。

産業教育分科会

●富士・愛鷹山麓地域における重度開発の現状は

問 富士・愛鷹山麓地域森林機能保全基金積立事業費1027万円余の増額は、重度開発を行った事業者からの保全措置負担金２件の納付によるものとのことですが、どのような開発が行われましたか。また、現在の申請状況はいかがですか。

答 6413平方メートルの土地と3854平方メートルの土地に対する重度開発で、どちらも資材置場が造成されましたが、具体的には残土置場として活用されるものと考えています。また、この２件以外についても相談はありますが確定はしていません。

建設消防分科会

●公園遊具の更新時にインクルーシブ遊具の導入を要望

要望 公園施設長寿命化事業費を1646万円余増額し、津田第１公園ほか３公園の老朽化した遊具を更新するとのことですが、更新する遊具は、公園愛護会や町内会長の意向を伺いながら、基本的には現状と同じ形のものに更新するとのことです。近年では、全ての子供が遊びやすいインクルーシブ遊具を設置する自治体が増えているので、本市においても更新に合わせてインクルーシブ遊具の導入を検討してください。

各分科会において、上記の質疑・答弁・要望があり、予算決算委員会としては、以下の事項を当局に要望することになりました。

- 富士地域材使用住宅取得費補助金について、現行の交付要綱が消費者のニーズや時代に合っていないと感じるため、対象面積などの要件を緩和するなど交付要綱を見直し、富士地域材利用がより推進される補助金になるよう検討すること。
- 学校給食食材管理事業費については、給食室の改修工事の工期は当初予算での見込みは立てにくく、給食の休止による減額は補正予算により対応を行っているとのことだが、給食室改修事業は今後も市内各校で実施されるため、工期を精査して当初予算を計上すること。

２月定例会常任委員会の審査（２月）

総務市民委員会

（条例２件、契約案１件、陳情１件）

【委員長】太田康彦　【副委員長】荻田丈仁
【委　員】一条義浩、杉山　諭、関　明美、笹川朝子、望月　昇、小野泰正

●大型事業を進める際には地元下請け企業への配慮を

要望　総合体育館等整備・運営事業では、今回、２回目のインフレスライド(※)を適用し、契約金額を変更前から５億3540万円余増の117億3588万円余にするとのことですが、多くの地元企業が下請けとして関わっている中、今回の変更契約を経てもコスト的に大変厳しい状況にあるとの声も伺っているので、この事業に限らず、大型事業を進める際には下請企業の状況についても配慮してほしい。

※インフレスライド：予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーションまたはデフレーションが生じ、請負代金額が著しく不適当となったときに請負代金額の変更を請求することができる措置のこと。

福祉保健委員会

（条例１件）

【委員長】鈴木幸司　【副委員長】高橋正典
【委　員】稲葉寿利、藤田哲哉、植松光徳、望月　徹、山下いづみ、福永意人

●救急医療業務手当の拡充による支給額の見込みは

問　夜間や休日などの時間外の救急医療のうち、手術や入院を伴う看護業務に携わった助産師及び看護師に対して、救急医療業務手当を支給できるよう条例を改正するとのことですが、実際に手当の支給額はどの程度増加すると見込んでいますか。

答　救急医療業務手当の拡充による増額分は、月額で200万円程度になると見込んでおり、手当の支給により労働環境の改善を図ることで、助産師及び看護師のモチベーションの向上につなげたいと考えています。

要望　助産師及び看護師の業務は多忙を極めているため、一人一人のフォローをしっかりと行い、働きやすい環境づくりに努めてください。

産業教育委員会

（請願１件）

【委員長】萩野基行　【副委員長】長谷川祐司
【委　員】小池智明、新家大輔、石川浩司、市川真未、笠井　浩、佐野智昭

請　願

ペット移動販売の禁止を求める意見書の提出を求める請願

【請願趣旨】

動物の福祉を守り、命の大切さを市民に伝えるため、悪質な販売方法を許すことのないよう、動物の愛護及び管理に関する法律において、ペット移動販売を禁止するよう求める意見書を、富士市議会から提出してほしい。

【審査結果】　不採択

幼い動物を長距離輸送させることは動物の福祉に反するといった本請願の趣旨には同意できるが、現時点での意見書案では把握できている状況と整合性が取れない点もあることから、そのまま提出することは適当でないと考えるため、本請願は不採択とすべきであるとの意見や、本請願をきっかけにペットの移動販売に対して問題意識を持つことができたため、請願者の意見を改めて聴取した上で、議員発議により意見書の提出を検討する方法もあるとの意見があり、本請願については不採択すべきものと決し、本会議において反対討論・賛成討論がありましたが、起立多数だったため委員長報告どおり不採択すべきものと決しました。

建設消防委員会

（その他１件）

【委員長】下田良秀　【副委員長】吉川隆之
【委　員】川窪吉男、遠藤盛正、井出晴美、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

当委員会に付託となった議案１件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

市長施政方針に対する各会派代表質問

会派の紹介

会派の構成は次のとおりです。（○は質問者）

リスペクトふじ	心政富士	凜の会・公明党	民主ふじ	草の根ふじ	真政会
一条　義浩	○下田　良秀	望月　昇	○杉山　諭	○笠井　浩	稲葉　寿利
小池　智明	川窪　吉男	○高橋　正典	長谷川祐司	関　明美	太田　康彦
鈴木　幸司	佐野　智昭	井出　晴美	山下いづみ	小池　義治	○遠藤　盛正
○植松　光徳	藤田　哲哉	萩野　基行	佐藤　菊乃	福永　意人	石川　浩司
○吉川　隆之	荻田　丈仁				
新家　大輔					

※会派代表質問（３月５日・６日）を行った時点での会派の構成です。

※会派とは、議会内において基本的な政策が、一致する議員３人以上により、結成された同志的集合体のことです。

発信力が弱いと言い続けられている中、本市の事業をどのようにＰＲしていくか　心政富士

議員　本市の事業ＰＲは、発信力が弱いと言い続けられている。伝えること、そして伝わることが重要であると考えるが、本市の事業を具体的にどのように情報発信していくのか。

市長　昨年12月に開催した高校生議会において、市政に関する情報を正確かつ確実に届けることの重要性を再認識した。

この課題を解決するためには、伝える対象を明確化し、どのような手法で行えば、伝えたい人たちに確実に情報が届くのかを意識しながら発信を行っていくことが重要であると考える。

情報発信の要となるウェブサイトは、見やすさや分かりやすさに配慮するとともに、検索性を向上させ、目的ページにたどり着きやすくなるよう、本年５月のリニューアルに向け取り組んでいる。

また、ここ数年、文章よりも映像で伝えるほうが高い効果を期待できる傾向にあるため、可能な限り動画を作成して市公式ユーチューブにて発信しているので、今後はさらなる活用を図っていく。

「きちんと伝えること」を全庁的な課題として捉えているので、対象の明確化及び効果的な手法の選定ができるよう、職員向けの広報広聴に関するマニュアルに明記して周知徹底を図るとともに、中堅職員の研修に情報発信に関する内容を盛り込むなど、市職員の意識改革などを進めながら、情報発信に努めていく。

「北里アリーナ富士」のオープンに伴う各種大会・イベントの具体的な計画内容を伺う　真政会

議員　新たな富士市の顔となる北里アリーナ富士のオープンに伴い、にぎわいや交流の拠点として、プロスポーツの公式戦をはじめとした各種大会・イベントを計画しているようだが、計画の具体的な内容を伺う。

市長　北里アリーナ富士のこけら落としには、市民の皆様がスポーツに気軽に触れ合えるよう、４月５日は市スポーツ協会の加盟団体による開館記念試合、４月６日には市民スポーツフェスティバルとして、スポーツの体験会やゲストを迎えて縄跳びやトランポリンのデモンストレーション等を実施する。

また、４月19日、20日には、プロバスケットボールＢ２リーグ最終戦、ベルテックス静岡対バンビシャス奈良の試合を行う。

このほかに、プロバスケットボールの公式戦が４試合、プロバレーボールの公式戦が６試合、アマチュアバスケットボールの全国大会が２回、卓球などの東海大会が５回、バドミントンやハンドボールなど50件の市民大会が予定されている。

プロチームの公式戦や全国規模の大会など、にぎわいや交流を目的としたイベントを開催していくとともに、多くの市民の皆様にも利用いただけるよう、開催時期や期間等を考慮しながら、バランスの取れた運営に努める。

市長施政方針に対する各会派代表質問

スポーツコミッションの設置による新たな効果をどのように期待しているか
リスペクトふじ

議員　スポーツによる地域活性化のさらなる推進を図るため、大会や合宿等の誘致に積極的に取り組むスポーツコミッションを設置するようだが、設置による新たな効果をどのように期待しているのか。

市長　スポーツコミッションは、行政や民間組織等が連携し、年間を通じて、スポーツ大会や合宿などを市外から誘致するアウター事業と市民スポーツ振興などのインナー事業に取り組み、スポーツによるまちづくりや地域活性化を推進する組織である。

スポーツコミッションを設置することで、交流人口の増加による経済的効果や市民へのスポーツ文化の浸透といった効果のほか、関係団体との情報共有や連携により、市全体として迎え入れる体制が確立されることで、大会主催者、来訪者の満足度の向上といった新たな効果が生まれるものと考えている。

本年４月には、富士市総合体育館北里アリーナ富士の供用が開始されるほか、富士川緑地の再整備が進み、大規模スポーツ大会の開催や合宿を実施する環境が整うことから、室内外を問わず、幅広いスポーツを対象に大会や合宿の誘致に取り組み、交流人口増加により、まちににぎわいをもたらすことを期待している。

富士保健医療圏における630事案が現時点でどのくらい改善しているか伺う
リスペクトふじ

議員　富士保健医療圏における救急受入れ困難事案、いわゆる630問題の解消を目指し、二次救急医療輪番体制に参加する医療機関を４病院に拡充するとともに、引き続き平日の朝から夕方までの受入れ困難時間帯の一次救急医療体制を確保するとのことだが、現時点で630問題がどのくらい改善しているか。

市長　本市では昨年１月から平日昼の時間帯に内科系・外科系一次救急輪番体制を構築し、同年11月からは、朝と夕方の時間帯についても私的病院に協力を仰ぎ、受入れ体制の整備を進めてきた。

これらの対策により、市内における救急搬送件数の速報値では、令和５年の１万157件から昨年の１万822件と665件増加する中、630事案発生件数は309件から225件に減少している。特に平日昼の時間帯は、53件から13件と大幅に減少しており、一次救急輪番体制の効果が表れていると認識している。発生件数は他の医療圏と比較していまだに多い状況にあるので、救急安心電話相談窓口＃7119の周知など救急医療の適正利用に向けた啓発活動を行っていく。

これまで懸案となっていた二次救急医療体制について、２病院から輪番体制への参加を表明していただき、本年４月からは救急医療体制の拡充につながる大きな一歩を踏み出すこととなる。

今後も、医師会や協力医療機関の意見を伺いながら、立ち止まることなく市内救急医療体制のさらなる強化に努めていく。

煎茶で勝負したいと考えているお茶農家等をどのようにカバーしていくのか伺う
凜の会・公明党

議員　富士のお茶の振興を図るため、富士のほうじ茶ブランド化や海外販路開拓の成果を踏まえ、市内茶業者の展示会出展や海外販路拡大を支援する補助制度を創設する。また、おにぎりや関連食材の魅力を国内外に発信する一般社団法人おにぎり協会に、お茶を特産物とする自治体として初めて加入しおにぎりサミットや会員自治体等が主催するイベントに参加するなど、富士のお茶の魅力を広く発信するとのことだが、煎茶で勝負したいと考えるお茶農家や製茶販売業者をどのようにカバーしていくのか伺う。

市長　富士のお茶に関する啓発、宣伝と茶業の振興を図ることを目的とした富士のお茶振興推進協議会が開催する、富士山新茶フェアを支援するほか、市内外でのＰＲ活動を行うなど、官民一体となってお茶の振興に取り組んでいる。

また、新年度から創設する富士のお茶販路拡大支援補助金は、国内外への販路拡大に取り組む市内の茶業者に対して、商談会やイベント等の出展に係る経費を支援するもので、煎茶を営む皆様にも広く活用いただきたいと考えている。

今後は、ほうじ茶の人気が高まる可能性がある一方、煎茶も伝統的な価値があり、安定した支持を受け続けるものと見込んでいるが、本市としては引き続き、多様な種類のお茶を状況に応じてバランスよく支援し、富士のお茶全体の底上げを図っていく。

ふるさと納税のさらなる寄附額増加のためにクラウドファンディング型を活用する考えは
草の根ふじ

議員　ふるさと納税については、さらなる寄附額増加に向け、大都市圏でのイベント出展や、デジタルマーケティング等による特産品の魅力や特色の効果的な発信、新たな返礼品の開拓や開発など、戦略的な取組を展開していくとのことだが、クラウドファンディング型にも取り組んでいくべきだと考えるがいかがか。

市長　本年度における本市へのふるさと納税の寄附額は、２月末で63億円を超える寄附を集めており、昨年度の寄附額43億円を大きく上回っている。

さらなる寄附額の増加を目指していくためには、寄附者の満足度の向上や幅広く関心を集めるための取組を強化していく必要があると考えており、新年度は、産業政策課にふるさと納税推進担当を設置し、膨大な寄附件数に伴う丁寧な問合せ対応や新たな返礼品の開拓等を行うとともに、短期的な消費動向やトレンド等を踏まえた上で、本市ならではの返礼品の魅力や寄附金の使い道など、様々な情報を効果的に発信していく。

クラウドファンディング型ふるさと納税についても、寄附者が効果を実感しやすく、市内外へのＰＲ効果のほか、資金調達手法としても有効であるため、プロジェクトの選定方法や目標額に達しない場合の対応など、導入に向けた検討を速やかに行い、新年度中の積極的な活用を図っていく。

持続可能な給食の提供に向けた検討とは、どのような姿か
民主ふじ

議員　岩松北小学校の給食室を改修するとともに、小中学校における持続可能な給食の提供に向け検討するとのことだが、フードマイレージや地産地消などＳＤＧｓの観点から、自校炊飯を再度見直してはどうか。また、持続可能な給食の提供に向けての検討とは、どのような姿での提供を目指すのか。

市長　地産地消やフードマイレージの観点からは、本市産の米を使用し、市内で炊飯することが理想と考えるが、安全・安心で安定的な供給が必要なことから県学校給食会と購入契約をしており、これにより、市外を含む業者が遠方から配送する状況が生じている。米飯を自校炊飯に見直すことは、洗米用のシンク、炊飯器、食缶洗浄機などを新たに購入し、これらを設置する場所が必要になるが、現在の各学校の給食室では、そのスペースの確保が難しいため、自校炊飯への見直しは考えていない。

また、本市では、毎年いずれかの学校において、給食室の長寿命化を目的とした改修工事を実施しており、改修中は給食の提供ができない状況が４か月程度生じている。改修する学校の児童生徒に給食を一定期間提供できなくなることは、課題であると認識していることから、改修中であっても、継続的に給食を提供できることが、持続可能な給食提供の一つの要素であると考えており、改修中の学校に対し、富士川学校給食センターや他校で調理した給食を提供する方法などについて検討していく。

音楽で市議会をもっと身近に　「議場コンサート」を開催！

２月定例会の開会に先立ち、富士市議会初の取組となる議場コンサートを開催しました。この取組は、市議会を身近に感じていただくとともに、芸術文化を振興するために企画したもので、当日は、本市出身のフルート奏者川島祐子氏とピアニスト渡辺浩代氏による二重奏で４曲が披露されました。

傍聴した市民の方からは、「クラシックと議会の雰囲気が合っていた」「すばらしい演奏だった」「これからも継続してほしい」などの好評をいただきました。また、演奏者からは、「議場の空間がよいのか、きれいに響き気持ちよく演奏できた」などの感想をいただきました。

演奏をお聴きになりたい方はこちら▶

2月定例会　一般質問一覧

議会中継、会議録検索はこちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では19人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細につきましては富士市ウェブサイトの本会議の議会中継（録画放送）や６月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館で御覧になれます。

望月（もちづき） 徹（とおる）	1．財政 将来負担比率の改善と総費用の改善について 2．市民サービスの向上 受付窓口などでの多忙期の対応について
伊東（いとう） 美加（みか）	1．女性の自治会長を増やすための対応策について 2．医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づく対応状況について
川窪（かわくぼ） 吉男（よしお）	1．下水道施設の維持管理について
佐野（さの） 智昭（ちあき）	1．市街化調整区域の許可基準（都市計画法第34条第２号）の改正について 2．農福連携の取組について 3．富士総合運動公園周辺の観光拠点エリアとしての形成を目指したまちづくりの推進について
小池（こいけ） 義治（よしはる）	1．市職員の時間外勤務削減を目指し、市役所の開庁時間を短縮してはどうか 2．まちづくり協議会における政治的中立性について 3．子育て施策充実の観点からもマリンプールは存続すべき
新家（あらいえ） 大輔（だいすけ）	1．よりよい富士川緑地にするための取組について
太田（おおた） 康彦（やすひこ）	1．地方創生に対応する富士市の取組について
藤田（ふじた） 哲哉（てつや）	1．病病連携について 2．ボランティア用ごみ収集について
荻田（おぎた） 丈仁（たけひと）	1．第３期廃棄物最終処分場（管理型）建設の確認書締結について 2．国指定史跡浅間古墳の発掘事業の推進について
井出（いで） 晴美（はるみ）	1．各種ハラスメント対策への対応について 2．子宮頸がん撲滅への取組について
佐藤（さとう） 菊乃（きくの）	1．まちかど保健室、ユースクリニックの設置について 2．多子世帯の保育料負担軽減について
関（せき） 明美（あけみ）	1．市職員のワーク・ライフ・バランス実現への進捗状況について
鈴木（すずき） 幸司（こうじ）	1．富士市ゼロカーボン戦略2050について 2．砂山公園プール（富士マリンプール）の今後について
石川（いしかわ） 浩司（こうじ）	1．学校の働き方改革における子供たちへの影響と地域連携について
小野（おの） 泰正（やすまさ）	1．魅力ある富士市を持続可能な観光地域とする、まちの振興につながるような インバウンド対応
萩野（はぎの） 基行（もとゆき）	1．学校における防災教育について
福永（ふくなが） 意人（むねと）	1．オープンファクトリー等の促進について 2．絶メシによる地域活性化について
市川（いちかわ） 真未（まみ）	1．ふじさんてらすMierulaの活用について 2．放課後等デイサービスと児童発達支援の今後について
笹川（ささがわ） 朝子（あさこ）	1．教員の長時間労働及び教員不足について 2．学校給食の米飯について

『高校生議会』を市議会議員がサポートしました！

昨年12月25日に第１回高校生議会が開催されました。これは、議員の一般質問がきっかけとなって実現に至ったもので、市内６つの高校の代表者が、本会議と同様に自らが発見した課題とその解決策などを議場で質問しました。

また、各校に２名の市議会議員がサポート議員として入り、質問の仕方や発言通告書の書き方、議会用語等をレクチャーするなど、当日まで様々な支援を行いました。

高校生が自ら考え、調べ、表現することで、市政への関心と地域への誇りや愛着を育むきっかけとなった一方で、サポート議員にとっても高校生の熱意や思い切った視点に触れることができ、有意義な時間となりました。

【各高校の質問内容】 ※発言通告順

- 吉原高校…… 富士市の観光について
- 吉原工業高校… 富士市の公園の課題について
- 富士見高校…… 富士駅北地区再開発と商店街のにぎわいについて
- 富士市立高校… いつなんどきでも対応できる保護施設について
- 富士高校…… 市内フードドライブについて
- 富士東高校…… 岳南電車及びシティプロモーションを基軸としたまちづくりについて

演壇で堂々と質問

議場の様子（富士東高校新聞部より）

当日の映像を御覧になりたい方はこちら▶

陳　情

テニスコートの新設に関する陳情
◇総務市民委員会にて審査◇

富士市テニス協会及び富士ソフトテニス協会では、富士総合運動公園庭球場を利用し、各種大会等を実施しているが、テニスコートの面数が少なく大会運営に支障を来すこともある。一般利用においても稼働率が高く、社会人等が利用する土曜日、日曜日や夜間などは、なかなかコートの予約が取れない状況となっている。また、富士総合運動公園には庭球場が８面あるが、富士市の人口規模やスポーツ交流の今後の可能性などを考えると、他市に比べテニスコートの面数が非常に少ないと思われるため、環境クリーンセンター跡地にテニスコート12面から16面、クラブハウス、夜間照明、駐車場等を建設してほしい。また、近年の猛暑に鑑み、暑熱対策としてコートに屋根を設置するなどの対策を施してほしい。

【審査結果】

本年４月には総合体育館が供用開始となり、プロスポーツ興行などが予定されており、駐車スペースの不足が懸念されるため、環境クリーンセンター跡地は、今後も駐車場として利用していく。一方で、テニスコート面数が他市に比べて少ないことは課題として認識しているため、駐車スペースを確保しながらテニスコートの面数を増やすにはどうしたらいいか、全体のレイアウトの再編等も視野に入れながら検討していく。また、近年の猛暑に鑑み、暑熱対策としてコートに屋根を設置するなどの対策を施すことについては、熱中症予防になるなどのメリットがあるが、設置費用などがかかるため、利用料金が高くなるなどのデメリットもある。メリットやデメリット、他施設の事例などを考慮し、暑熱対策を検討していくとの所見説明に対し、当委員会としては、陳情者を含めた利用者団体との意見交換を行う場を設けることを要望し、当局説明を了承することに決しました。

特別委員会の中間報告

新病院建設特別委員会

昨年12月26日、今年３月12日に新病院の建設についてを議題として開催しました。

●新病院建設にかかる総事業費の見込みは

問 今回の基本構想（案）では、概算事業費として、新病院建設工事費373億円のほか、医療機器整備費54億円、解体工事費20億円など、全体で458億円と示されましたが、これには立体駐車場の建設費や土地の取得費は含まれていないとのことです。計上していない経費を含めた総事業費はどの程度を見込んでいるのですか。

答 概算事業費に計上していない経費については、これから詳細を試算するものが多く正確な金額を示すことは困難ですが、立体駐車場の建設工事にかかる経費が多額になることから全部で20億円から30億円程度と見込んでいます。これを含めた総事業費を500億円以内に収めたいと考えていますが、今後の物価高騰の状況や整備内容で大きく変動することが予想されます。将来の安定した病院経営のためにも、さらに経費を削減できるよう基本計画の策定段階で検討していきます。

●三次救急医療に対応するための施設整備費用は

問 新病院の基本方針における目指す姿では、将来的に第三次救急医療機関への機能転換が可能な施設整備を図るとありますが、そのためにはさらなる施設整備や医療人材の確保などが必要になることから、建設費が高騰する現状では、まずは二次救急医療の充実を図るべきだと考えます。今回示された概算事業費には、三次救急医療に対応した施設整備に必要な費用は含まれているのですか。

答 新病院建設工事費は、１平方メートル当たりの建設単価に、１床当たりの床面積90平方メートルと、新病院の病床数450床を掛け合わせて算出した概算の事業費であり、三次救急医療に必要な床面積や必要な設備などにかかる個別の費用を積算したものではありません。根拠とした１床当たり90平方メートルという面積は、三次救急医療を担う救命救急センターを設置できるだけの面積的余裕はあると考えていますが、個別の費用については基本計画の策定段階で詳細に検討する予定です。

以上の質疑、答弁の後、委員間討議を行いました。

- 事業費については基本計画の策定段階で詳細な検討を行うとのことなので、今回の基本構想（案）については了承したい。
- 新病院の基本方針における目指す姿では、二次救急患者の受入れを断らない体制を最優先との記載はあるが、三次救急医療への機能転換が可能な施設整備が中心となっているように感じる。しかし、富士保健医療圏では二次救急医療を担える病院が少ないこと、また、物価高騰により事業費が膨張している現状では、まずは二次救急医療提供体制を充実させていくことが重要と考えるため、二次救急医療を充実させる旨を明記すべきである。

等の意見があり、**当局より、「現在の喫緊の課題である630問題の改善のためには、まずは二次救急医療の充実が最優先になるため、『二次救急医療のさらなる充実』という文言を加えたいと思います」との発言があり、当特別委員会としては、新病院建設**

ユニバーサル就労推進特別委員会

１月30日にユニバーサル就労の推進についてを議題として開催しました。

●誰もが働きやすい職場環境の拡大を

問 ユニバーサル就労推進事業の指標及び数値目標の変更について、障害者雇用等を行っている工場等の誘致活動では、取組内容を変更し、企業立地促進奨励金制度を活用した工場等の誘致数から、新設や増設、設備投資等により、障害者が働ける環境を確保した事業所の数に指標を変更していますが、今後どのような取組を行うのですか。

答 障害者雇用においては、障害を持つ方の生活や状況を段階的に確認しながら長期雇用につなげていく必要があるため、誘致企業が事業開始までの間に障害者を雇用することは難しいと判断しました。今後は、工場等を対象とした既存の奨励金制度に加え、オフィスを対象とした制度も検討しており、誰もが働きやすい職場環境の拡大に向けて取り組んでいきます。

議会の構成

笠井　浩
第49代議長

高橋正典
第58代副議長

３月25日の本会議で正副議長選挙が行われ、議長には笠井浩議員、副議長には高橋正典議員が当選しました。
また、議会運営委員会、各常任委員会、各特別委員会の委員も改選されました。

◎委員長　○副委員長

総務市民委員会

（後列左より）新家大輔・小池義治・下田良秀・遠藤盛正
（前列左より）伊東美加・◎井出晴美・○佐藤菊乃・川窪吉男

【所管事項】
総合的な企画・調整、財政、税金、市民生活、スポーツ、防災などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

福祉保健委員会

（後列左より）小野泰正・望月昇・太田康彦・一条義浩
（前列左より）関明美・◎杉山諭・○荻田丈仁・笹川朝子

【所管事項】
福祉、保健、こども、病院などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

産業教育委員会

（後列左より）藤田哲哉・高橋正典・吉川隆之・植松光徳
（前列左より）望月徹・◎長谷川祐司・○福永意人・稲葉寿利

【所管事項】
商工、農林、労働、清掃、環境、教育などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

建設消防委員会

（後列左より）笠井浩・鈴木幸司・萩野基行・市川真未
（前列左より）山下いづみ・◎佐野智昭・○石川浩司・小池智明

【所管事項】
道路、河川、公園、都市計画、上・下水道、消防などについての事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

議会運営委員会

【委員長】太田　康彦
【副委員長】鈴木　幸司
小池　智明、萩野　基行
佐野　智昭、小池　義治
長谷川祐司

ユニバーサル就労推進特別委員会

【委員長】遠藤　盛正
【副委員長】新家　大輔
井出　晴美、佐藤　菊乃
福永　意人、藤田　哲哉
一条　義浩

新病院建設特別委員会

【委員長】荻田　丈仁
【副委員長】植松　光徳
高橋　正典、石川　浩司
鈴木　幸司、笠井　浩
杉山　諭

※議会改革検討委員会、議会広報委員会についてはウェブサイトを御覧ください。

議会広報委員が市内の注目スポットなどを取材！！ Vol.28

議員ふじさん歩

歴史探索、4500年前の遺跡をたどって！

（担当：新家大輔、井出晴美）

天間沢遺跡は、縄文時代の中頃（4500年ほど前）の富士市を代表する遺跡です。

天間幼稚園付近には集落の中心地の一つがあり、人々が集まることのできる広場を囲むようにして縄文時代中期の竪穴住居跡が14件発掘され、打製石斧などが多数発見されています。今では、天間沢遺跡公園として整備され、近所の人の散歩コースになっています。

出土品は、富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）に展示されています。

天間沢遺跡公園を散策しつつ、富士山かぐや姫ミュージアムにて遺跡を探索し、地域の歴史をひもといてみてはいかがでしょうか。

議会にひと言

今回は、富士市スポーツ協会会長の山野政宏さんにお聞きしました。　（インタビュアー：川窪吉男）

今年、本市にスポーツコミッションが設立されます。その核となるのが４月にオープンした総合体育館（北里アリーナ富士）です。市民スポーツの推進を目的とした多目的な使用に加え、プロ選手のプレーを身近で観戦することもでき、スポーツを十分に味わうことができます。

多くの市民が、総合体育館を活用したスポーツイベント等を通じて人生を豊かにし、まちを活性化していくことができます。そのためには議会と市民、行政が共に、市民に軸足を置いたスポーツによる富士市のまちづくりを進めることが大切だと思います。

議会Q&A Vol. 8

ふじ市議会だよりはどうやってつくっているの？

（担当：福永意人）

A.　ふじ市議会だよりは、各定例会の審議内容を踏まえ、記事の内容やレイアウトなどについて、議会広報委員会で協議しながら作成し、年４回発行しています。例えば、表紙に掲載する写真は、富士山百景写真コンテストの入選作品の中から、季節に合ったものを選んだり、特集では議会のどんなテーマを掲載するのかを決めたりしています。

特に、最終ページの「議員ふじさん歩」、「議会にひと言」、「議会Ｑ＆Ａ」では、議員自らが現場まで写真を撮りに行ったり、直接インタビューを行ったりして原稿を作成しています。議会と市民の皆さんをつなぐ大切なものですから、御覧いただけるとうれしいです。

編集後記

今回は、昨年初めて開催した高校生議会について、また新しい体制でスタートする各常任委員会等の構成についても紹介しています。議会広報委員会も新体制となりますが、引き続き市民の皆様に分かりやすい記事で議会についてお伝えしていきたいと思います。　（石川浩司）

次回定例会予告

６月定例会は、６月13日から６月30日まで開催される予定です。

発　行
富士市議会
編　集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町１丁目100番地
☎0545（55）2878（直通）
ウェブサイト
富士市議会　検索

傍聴者数及び議会中継アクセス数は、富士市議会ウェブサイトを御覧ください。